

研究テーマ	山梨県郷土伝統工芸品に関する調査研究		
担当者 (所属)	秋本梨恵・串田賢一（デザイン）		
研究区分	経常研究	研究期間	令和元年度～令和2年度

【背景・目的】

山梨県では、「山梨県郷土伝統工芸品」として、12の品目を指定しており、うち3品目は国の伝統的工芸品に指定されている。伝統工芸は、全国的に生産額・従事者数の減少傾向が続いており、本県においても、後継者不足や需要変化に対応できず、存続が危機的な状況になっている品目もある。また、小規模企業が多いために、産地として一般消費者に知ってもらうための情報発信力が不足している。

本研究では、山梨県の郷土伝統工芸品に関する歴史や技法等を、将来に残せるかたちで記録・保存することで文化的地域資源の伝承につなげることで、またそれらの情報を効果的に発信することで、伝統産業の新たな発展につなげることを目的とする。

【得られた成果】

○ヒアリング調査

郷土伝統工芸品の産地組合、生産者、関係者を対象にヒアリング調査を行い、結果についてSWOT分析により整理し、各品目共通の課題や機会、品目の特性による課題の違い等について考察した。

○山梨県郷土伝統工芸品の認知度調査

山梨県を含む全国の20代～70代の一般消費者1,000名を対象として、伝統工芸品の購買経験、山梨県郷土伝統工芸品の認知度等についてWEBアンケート調査を実施し、結果について分析を行った。各産品に対する県内・県外での認知度の違いを明らかにした(図1)。また、伝統工芸品のターゲットとなりうる消費者の特性について検討した。

○各品目の歴史・技法に関する調査

「富士勝山スズ竹細工」「甲州大石紬織物」「甲州雨畑硯」「甲州親子だるま」について、歴史等の文献調査及びヒアリング調査、原料・道具・工程の写真記録および各工程の動画記録、作品の写真記録を行った(図2)。またそれぞれの詳細について文章による記録を行った。

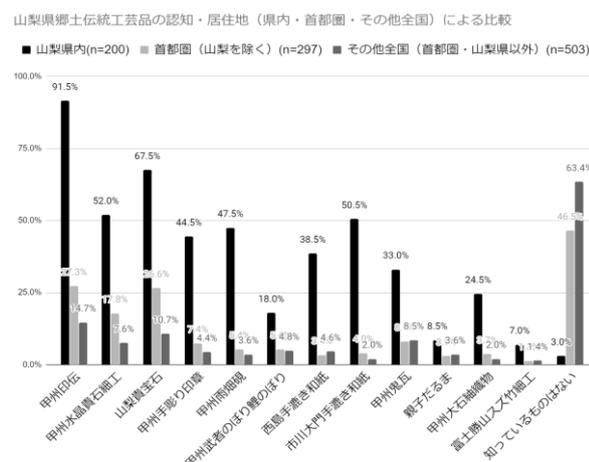


図1 山梨県郷土伝統工芸品の認知(%)
ウェブアンケート結果より



図2 工程画像・道具画像（スズ竹細工）

【成果の応用範囲・留意点】

12品目について調査を継続して進めるとともに、写真・文章・動画の編集を行い、冊子としてまとめる。また動画記録の活用、情報発信方法について検討する。